

高井戸図書館実習報告



- ◆期 間◆ 8月2日（火）～4日（木）
- ◆学 校◆ 都立杉並総合高等学校1年生（4名）
- ◆仕事内容◆ 配架、交換便の処理、予約本集め、おはなし会の準備と実演、本の装備、本のクリーニングなど

職場体験後、生徒さんに感想やおすすめ本を聞いてみました。

☆楽しかったこと☆

- ・ 普段知ることのできない予約本の処理や配架などについて知り、体験することができたこと。
- ・ バーコードを読み取る作業と新しい本にカバーやバーコードを付ける作業が楽しかった。
- ・ 本の分別をする時たくさんの本と触れ合えたことが、大変だったけどやりがいを感じた。
- ・ 図書館がどんな仕事をしているかを知って、体験できたこと。

☆大変だったこと☆

- ・ 配架や予約本の回収の際に、書架が多くどこにあるのかなどを覚えるのが大変だった。
- ・ 予約本を見つける事と、配架すること。請求記号やバーコードを見ても、なかなか場所が見つからず苦労した。
- ・ 本を分別する時、たくさんの本があって、元の場所に戻すのが難しかったこと。また、読み聞かせて明るく表現することが大変だった。
- ・ 予約本の回収が、どこにあるのかわからなくて大変だった。でも楽しかった。

☆杉並区の図書館について、どう思いますか？☆

- ・ 蔵書が多く、広くてきれいだと思う。また、人もたくさん来ていると思う。
- ・ 杉並区の図書館はYA（ヤングアダルト）という枠があって、十代の私たちは本を選びやすくてとても良いと思った。
- ・ 地域との関わりが深く、いつも楽しく笑顔になれる場所だと思う（イベントなどが多い）。
- ・ 細かい工夫や気遣いがあってすごいと思った。色んな人が利用できるように、イベントコーナーなどの工夫はすごいと思った。

☆職場体験後の感想☆

- ・あっという間の3日間だった。大変なところもあったけれど、普段体験できないような予約本の回収やブッカーかけなどが体験できて嬉しかった。短い期間でしたが、ありがとうございました。
- ・予約本を見つける仕事をして、司書の方たちが一生懸命本を探してくださっているため、インターネットなどで予約をしてすぐに本を受け取れるのだと知った。
仕事を体験して、司書は体力も必要であり、慎重に仕事をするのが大切だとわかった。
- ・自分なりに努力したものの、やはりもう少し頑張れたのではないかと思った。
しかし、学校生活では味わえないような体験が3日間もできたので、今後の自分の将来に生かしていきたい。
- ・ブッカーかけなど、たくさん面白い事や工夫を知ることができて良かった。家で試してみたい。
配架なども大変だったが、やりがいがあった。図書館がどんなことをしているのかを知ることができ、良い機会だったと思う。

☆私のおすすめ本☆

『シアター！』 有川 浩／著 アスキー・メディアワークス

300万の負債を抱えた、シアター・フラッグ。兄・司と弟・巧の絆や劇団員との絆など、面白い場面がたくさんあります！

『Run!Run!Run!』 桂 望実／著 文藝春秋

この本はアスリートの苦悩が描かれていて、努力を続けることの大切さを知ることができ、つらい決断をする主人公に心を打たれる話です。

『ハリー・ポッターと賢者の石』 J・K・ローリング／著 静山社

魔法の世界を想像したことはありますか？あなたをホグワーツに招待しましょう。

『少女』 湊 かなえ／著 早川書房

「少女」は湊かなえワールド全開のミステリー小説です。映画化もされます。

ミステリーが好きな人はもちろん、そうでない人も読んでみてください。読んでいるうちに本に引き込まれ、ミステリーが好きになります。死体を見たい2人の物語です。ぜひ読んでください。

